

安心に暮らせるまち に進んでいるのか

- ☺：コロナ禍で市独自の給付金で、子育て世帯を支援
- ☹：コロナ禍でも、継続して支援ができる体制づくり

コロナ禍における市 民生活支援

- ☺：子育て支援のための給付金や教育環境の整備が促進
- ☹：自治会活動の低下。今後のコミュニティ活動支援

- ☺ 評価する点
- ☹ 課題となる点

子どもの貧困対策

- ☺：コロナ禍、ひとり親家庭への支援策
- ☹：学習併設型子ども食堂が消滅

「平時から非常時に」 予算の見直し

- ☺：不要・不急は延期・中止、市民生活支援重視に
- ☹：先を見通した施策で不安に応える必要

未来を創り出す力を 育む教育の推進

- ☺：鶴っ子土曜塾×大学生WIN-WIN事業
- ☹：情報教育環境活用支援事業

コロナ対策

- ☺：トイレ改修等の感染対策 ひとり親家庭への支援
- ☹：経済的影響を受けた市民への取組



論点

※ 監査委員として審査しています。

について審議を重ねました。
言葉で評価します。

第6次総合計画初年度 の成果を探そう

- ☺：結果的には、職員数を大幅削減している
- ☹：コロナ感染者に何もしていない、何もできない市の現実

継続的な施策の流れ と事業効果

- ☺：地域と連携した太田ヶ谷緑地保全事業
- ☹：職員研修事業の市民目線から見た事業効果